

船坂まち歩き／B班

B班 船坂地区西南のまち歩きの様子



お稲荷さんの前に建つ鳥居です。階段を登ると奥にお稲荷さんがあります。



昔、船坂で大火があった後に建てられた、火の守り神“アキバさん”がありました。船坂の安全を静かに見守っているように感じました。



船坂に残る数少ない茅葺屋根のおうちです。震災にも耐え、数年前にきれいに補修されていて、とても風情がありました。まちの景観のポイントにもなっているので、今後も保存してほしいと思いました。



“きのこ”をイメージした、ビエンナーレの作品が茅葺屋根に展示されていました。



休耕地に竹やぶが広がっていました。5年も経てば竹やぶがもっと広がるそうです。美しい棚田が竹やぶになっていくのは、とても残念に思いました。休耕地の活用を考えていく必要があると感じました。



西南の山道を登っていくと家電や粗大ゴミの不法投棄がありました。せっかくの美しい自然が汚されていました。



山道の途中、川がとても近くに流れる場所がありました。水に触れることも出来て、自然の豊かさを感じました。



保護樹木に指定されている立派な“アカマツ”が、立っていました。樹齢は何年くらいなのでしょう。船坂のまちを一番よく知っている樹木かもしれません。



右手に見えるのが“桂山荘”の築地塀です。薄紅色の塀が自然の中でアクセントになっていました。



船坂交差点南西側の棚田です。よく手入れされていて、美しい田園風景が広がっていました。



船坂交差点の南にある棚田です。急な坂道を登ったご褒美にきれいな景色が見られました。



山王神社のなかに入りました。神社のなかは、まちとは違う雰囲気漂っていました。一息入れるのに、とてもよい場所だと思いました。



落雷があった樹木は、いまでも元気にしていました。